

令和7年第3回
組合議会定例会議事録

招集日 令和7年8月21日

招集場所 クリーンプラザふじみ大会議室

ふじみ衛生組合議会

令和7年第3回 組合議会定例会議事録

招 集 日 令和7年8月21日（木）

招集場所 クリーンプラザふじみ大会議室

1 出席議員（10人）

1番 大野 祐 司

2番 古川 陽 菜

3番 松野 英 夫

4番 丸田 絵 美

5番 井上 耕 志

6番 大倉 あき子

7番 岩見 大 三

8番 加藤 こうじ

9番 土屋 けんいち

10番 前田 まい

2 欠席議員（0人）

3 出席説明員

管 理 者	河 村 孝	副 管 理 者	長 友 貴 樹
参 与	馬男木 賢 一	参 与	今 井 隆 司
事 務 局 長	荻 原 正 樹	事 務 局 次 長	上 野 洋 樹
総 務 課 長	鷹 林 勝	施 設 課 長	澤 田 忍
施 設 課 参 事	小 暮 与志夫	施 設 課 長 補 佐	山 賀 則 夫
総 務 主 幹	垣 花 満	総 務 主 幹	窪 田 秀 文
清 掃 主 幹	仲 雅 広	清 掃 主 幹	三ツ木 吉 和
人 事 主 幹	田 中 博 文	文 書 主 幹	富 永 幹 雄
財 務 主 幹	伊 藤 恵 三	契 約 主 幹 検 査 主 幹	立 花 省 二
会 計 管 理 者 出 納 主 幹	荒 川 浩 一	監 査 事 務 局 長	古 園 純 一

午前 9 時56分開会

○議長（大野祐司君） おはようございます。

議会に先立ちまして、私からお話をさせていただきます。

私は調布市議会選出で、議長の大野祐司でございます。

本日は、調布市議会選出議員 2 名及び三鷹市議会選出議員 3 名の皆様には、初めてのふじみ衛生組合議会でございます。

議会開会前に議員の自己紹介と関係職員の紹介をお願いいたします。

それでは、調布市議会選出の前列古川陽菜議員からお願いいたします。

○2 番（古川陽菜君） 調布市チャレンジ調布の古川陽菜と申します。初めてのふじみ衛生組合議会になりますので、ちょっと緊張しておりますけれども、どうぞよろしく願います。

○議長（大野祐司君） 続きまして、松野議員。

○3 番（松野英夫君） おはようございます。

公明党の松野英夫と申します。前回と引き続き、継続させていただきますが、新リサイクルセンターに向けての取組に関して、有意義な意見交換等々をさせていただければと考えております。よろしく願います。

○議長（大野祐司君） 丸田議員。

○4 番（丸田絵美君） おはようございます。

丸田絵美でございます。チャレンジ調布の幹事長を務めております。今回チャレンジ調布から 3 名、過半数を押し込んでしまいました。頑張っておりますので、どうぞよろしく願います。

○議長（大野祐司君） 井上議員。

○5 番（井上耕志君） 井上耕志と申します。2 年ぶりのふじみ衛生組合ということで、緊張しておりますが、どうぞよろしく願います。

○議長（大野祐司君） 続きまして、三鷹市議会選出の前列の大倉議員から願います。

○6 番（大倉あき子君） こんにちは。

三鷹市議会公明党の大倉と申します。前回に引き続き務めさせていただきますので、どうぞよろしく願います。

○議長（大野祐司君） 岩見議員、願います。

○7番（岩見大三君） おはようございます。

三鷹市議会の立憲民主緑風会という会派の岩見大三と申します。今回、初めてこちらの議会に参加させていただきます。大変緊張しております。どうぞよろしくお願いいたします。

○議長（大野祐司君） 加藤議員、お願いします。

○8番（加藤こうじ君） おはようございます。

三鷹市議会自民クラブ幹事長を務めております加藤こうじです。私も初めてのふじみ衛生組合議会議員ですので、どうぞよろしくお願いいたします。

○議長（大野祐司君） 土屋議員。

○9番（土屋けんいち君） おはようございます。

三鷹市議会自民クラブ土屋けんいちでございます。引き続き、ふじみ議会を担当させていただきます、なお、この議会で副議長を仰せつかっております。よろしくお願いいたします。

○議長（大野祐司君） 前田議員。

○10番（前田まい君） おはようございます。

日本共産党三鷹市議会議員団の前田まいです。長らくお世話になりました大城議員に代わりまして、初めて議会に参加させていただきます。よろしくお願いいたします。

○議長（大野祐司君） 次に、特別職職員の紹介を管理者からお願いいたします。

○管理者（河村孝君） 皆様、おはようございます。

ふじみ衛生組合特別職職員の皆様のご紹介をさせていただきます。

まず、私が管理者を務めさせていただいております、三鷹市長の河村であります。よろしくお願いいたします。

副管理者には、長友貴樹調布市長にお願いしております。

○副管理者（長友貴樹君） 調布市長の副管理者、長友です。よろしくお願いいたします。

○管理者（河村孝君） 次に、参与でございます。馬男木賢一三鷹市副市長でございます。

○参与（馬男木賢一君） 参与の三鷹市副市長馬男木でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○管理者（河村孝君） 同じく参与の今井隆司調布市副市長でございます。

○参与（今井隆司君） おはようございます。

同じく参与の調布市副市長の今井でございます。よろしくお願いいたします。

○管理者（河村孝君） 次に、識見を有する監査委員といたしまして、三鷹市の監査委員であります河並祐幸氏でございますが、本日はあいにく出席しておりません。また、いずれかの機会にご紹介をさせていただきます。

また、監査委員の定数は2名でございますが、議会選出監査委員は丸田絵美委員となっております。

○監査委員（丸田絵美君） よろしくお願いたします。

○管理者（河村孝君） 以上でございます。よろしくお願いたします。

○議長（大野祐司君） ありがとうございます。

次に、一般職職員の紹介を事務局長からお願いいたします。

荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） おはようございます。

私は、ふじみ衛生組合事務局長の荻原でございます。よろしくお願いたします。

私からは、組合兼職職員並びに組合職員をご紹介させていただきます。

初めに、兼職職員をご紹介させていただきます。

総務主幹の垣花満三鷹市生活環境部長でございます。

○総務主幹（垣花満君） 総務主幹の垣花です。よろしくお願いたします。

○事務局長（荻原正樹君） 同じく総務主幹の窪田秀文調布市環境部長でございます。

○総務主幹（窪田秀文君） 総務主幹の窪田です。よろしくお願いたします。

○事務局長（荻原正樹君） 清掃主幹の仲雅広三鷹市ごみ対策課長でございます。

○清掃主幹（仲雅広君） 清掃主幹の仲でございます。どうぞよろしくお願いたします。

○事務局長（荻原正樹君） 同じく清掃主幹の三ツ木吉和調布市環境部資源循環推進担当副参事兼資源循環推進課長でございます。

○清掃主幹（三ツ木吉和君） 清掃主幹の三ツ木です。よろしくお願いたします。

○事務局長（荻原正樹君） 続きまして、人事主幹の田中博文三鷹市総務部調整担当部長兼職員課長でございます。

○人事主幹（田中博文君） 人事主幹の田中でございます。よろしくお願いたします。

○事務局長（荻原正樹君） 文書主幹の富永幹雄三鷹市政策法務課長でございます。

○文書主幹（富永幹雄君） 文書主幹の富永でございます。どうぞよろしくお願いたします。

○事務局長（荻原正樹君） 財務主幹の伊藤恵三三鷹市企画部調整担当部長兼財政課長でございます。

○財務主幹（伊藤恵三君） 財務主幹の伊藤でございます。よろしくお願いいたします。

○事務局長（荻原正樹君） 契約・検査主幹の立花省二三鷹市契約管理課長でございます。

○契約・検査主幹（立花省二君） 契約及び検査主幹の立花でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局長（荻原正樹君） 会計管理者・出納主幹の荒川浩一三鷹市会計管理者でございます。

○会計管理者・出納主幹（荒川浩一君） 会計管理者・出納主幹の荒川でございます。よろしくお願いいたします。

○事務局長（荻原正樹君） 監査事務局長の古園純一三鷹市監査事務局長でございます。

○監査事務局長（古園純一君） 監査事務局長の古園でございます。よろしくお願いいたします。

○事務局長（荻原正樹君） 続きまして、組合職員をご紹介します。

事務局長次長の上野洋樹でございます。

○事務局長次長（上野洋樹君） 事務局長次長の上野です。よろしくお願いいたします。

○事務局長（荻原正樹君） 総務課長の鷹林勝でございます。

○総務課長（鷹林勝君） 総務課長の鷹林でございます。よろしくお願いいたします。

○事務局長（荻原正樹君） 施設課長の澤田忍でございます。

○施設課長（澤田忍君） 施設課長の澤田でございます。よろしくお願いいたします。

○事務局長（荻原正樹君） 施設課参事の小暮与志夫でございます。

○施設課参事（小暮与志夫君） 施設課参事の小暮です。よろしくお願いいたします。

○事務局長（荻原正樹君） 施設課長補佐の山賀則夫でございます。

○施設課長補佐（山賀則夫君） 施設課長補佐、山賀でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局長（荻原正樹君） その他の職員につきましては、お手元に配付させていただいておりますふじみ衛生組合名簿をご覧くださいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

以上でございます。

○議長（大野祐司君） 以上で議員及び職員の紹介を終わります。

これより令和7年第3回ふじみ衛生組合議会定例会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

日程第1 議席の指定

○議長（大野祐司君） 日程第1、議席の指定を行います。

本会議は、調布市議会選出2名の議員及び三鷹市議会選出3名の議員の皆様には、初めての組合議会でございますので、議席の指定をいたしたいと思っております。

ただいまご着席のとおり指定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（大野祐司君） ご異議なしと認め、議席はただいまご着席のとおり、2番、古川陽菜議員、5番、井上耕志議員、7番、岩見大三議員、8番、加藤こうじ議員、10番、前田まい議員といたします。

日程第2 会期の決定

○議長（大野祐司君） 日程第2、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。会期は本日1日といたします。これにご異議はありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（大野祐司君） ご異議なしと認めます。よって、会期は本日1日とすることに決定いたしました。

日程第3 会議録署名議員の指名

○議長（大野祐司君） 続きまして、日程第3、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第36条の規定により、4番丸田絵美議員及び10番前田まい議員を指名いたします。

日程第4 管理者報告

○議長（大野祐司君） 日程第4、管理者報告に入ります。

それでは、河村管理者、お願いいたします。

○管理者（河村孝君） 皆様、おはようございます。議員の皆様におかれましては、両

市の定例議会を控えまして、何かとお忙しい時期に、令和7年第3回ふじみ衛生組合議会定例会をお願い申し上げまして、恐縮に存じております。

それでは、早速、管理者報告に入らせていただきます。

本日、ご報告申し上げますのは5件でございます。

ご報告の第1件目は、ごみ処理実績についてでございます。

なお、重量につきましては、小数点以下を四捨五入してご報告させていただきますので、ご了承ください。

初めに、資料1をご覧ください。

クリーンプラザふじみの令和7年4月から6月までの処理実績でございます。この3か月の総搬入量は1万9,092トンございまして、前年度と比較いたしますと、200トン、1.0%の減となっております。

その内訳といたしましては、三鷹市が7,145トンで構成比44.5%、前年度比204トン、2.8%の減でございます。調布市が8,912トンで構成比55.5%、前年度比228トン、2.5%の減となっております。

また、リサイクルセンターにおける処理後の可燃性残渣の搬入につきましては、3,027トンで前年度比1,250トン、70.3%の増となっております。

そのほか、石川県の災害廃棄物を8トン受け入れております。

次に、資料2をご覧ください。

リサイクルセンターの令和7年4月から6月までの処理実績でございます。

この3か月の総搬入量は4,158トンございまして、前年度と比較いたしますと、183トン、4.2%の減となっております。その内訳といたしましては、三鷹市が2,069トンで構成比49.8%、前年度比37トン、1.8%の減でございます。調布市が2,088トンで構成比50.2%、前年度比146トン、6.5%の減となっております。

ご報告の第2件目は、視察・見学の状況についてでございます。

資料4をご覧ください。

クリーンプラザふじみの令和7年4月から6月までの3か月の視察・見学者数でございます。この3か月の見学者数は29団体で2,553人ございました。昨年度と比較いたしますと、4団体、191人の増となりました。また、欄外2にございまして、6月7日に煙突登り見学会を開催し、23人の皆様にご参加いただきました。

今後とも、両市の児童生徒及び市民の皆様に向けた環境学習・啓発活動に取り組んでま

います。

ご報告の第3件目は、地元協議会等についてでございます。地元協議会につきましては、6月2日に第85回の地元協議会を開催いたしました。ごみ処理実績や環境測定結果を報告するとともに、(仮称)新リサイクルセンター建設工事に関する工事協定書及び(仮称)新リサイクルセンターの屋上の活用方法についてご意見を伺いました。また、7月4日に施設見学会を実施いたしまして、東京たま広域資源循環組合のエコセメント化施設を見学いたしました。

なお、次回の会議は8月25日に開催を予定しております。

安全衛生専門委員会につきましては、7月7日に第27回の安全衛生専門委員会を開催いたしました。委員任期の満了に伴いまして、委員の皆様にご委嘱状を交付させていただき、専門的な見地から引き続きのご指導等をお願いいたしました。会議では、正副委員長の互選の後、ごみ処理実績等の報告をいたしました。

なお、安全衛生専門委員会につきましては、原則年1回の開催であるため、次回の会議は来年度となる見込みでございます。

ご報告の第4件目は、ふじみまつりについてでございます。13回目を迎えますふじみまつりにつきましては、来る11月16日日曜日、午前10時から開催する予定でございます。地元協議会委員をはじめとする有志の皆様及びふじみ衛生組合職員による実行委員会を組織いたしまして、検討を進めているところでございます。

当日は、三鷹市、調布市をはじめとして、近隣大学や関連事業者の皆様のご協力の下、企画、運営に当たることとしております。多くの皆様の来場が想定されますので、無事故で楽しんでいただけますように、万全の準備を整えてまいります。組合議員の皆様におかれましても、ぜひご来場をしていただきたいと思いますということでお待ち申し上げます。

ご報告の第5件目は、リサイクルセンターの更新についてでございます。

資料5をご覧ください。

(仮称)新リサイクルセンターにつきましては、本年2月に施設の整備・運営事業者が決定いたしまして、現在、設計協議を行っているところでございます。今後の予定でございますが、令和8年2月に建設工事に着手し、令和10年9月から試運転を行いまして、令和11年3月には外構工事も含め、竣工の見込みでございます。

私からのご報告は以上でございます。

なお、ごみ処理実績及びリサイクルセンターの更新につきまして、事務局長より補足説

明をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） おはようございます。

私からは、管理者報告のうち、ごみ処理実績及びリサイクルセンターの更新につきまして、補足をさせていただきます。

第1件目は、ごみ処理実績についてでございます。管理者からの報告と同様、重量につきましては、小数点以下を四捨五入してご報告させていただきます。

資料1をご覧ください。

クリーンプラザふじみの令和7年4月から6月までの3か月間の状況でございます。搬入実績につきましては、前年度と比較いたしまして、総量で1.0%の減となりました。三鷹市、調布市の搬入量につきましては、引き続き減少傾向となっております。また、リサイクルセンターの可燃性残渣が1,250トン、70.3%の大幅な増となっておりますが、これは昨年8月からプラスチック、10月から一部のペットボトルを焼却・熱回収処理に変更したことによるものでございます。

なお、小平・村山・大和衛生組合の広域支援は、令和6年度をもって終了となりましたので、小平市の搬入量は皆減となっております。

次に、表の右側でございます。この3か月間で、1万3,904トンを焼却処理いたしまして、熱回収による発電では、電力事業者へ5,931メガワットアワーを9,400万円余で売却いたしました。

次に、搬出実績でございます。処理に伴う焼却灰等1,559トンにつきまして、エコセメント化施設等に搬出いたしました。

続きまして、資料2をご覧ください。

リサイクルセンターの令和7年4月から6月までの3か月間の状況でございます。

搬入実績につきましては、前年度と比較いたしまして、総量で4.2%の減となりました。

次に、搬出実績でございます。搬出実績につきましては、まず、左側の有償・無償の資源物から申し上げます。

総量は前年度と比べ1,304トン、56.5%の大幅な減となっております。この主な要因は、昨年の8月からプラスチックの処理が焼却・熱回収処理に変更となり、14番の容リ・プラスチックが1,020トンの減となったこと及び昨年の10月から一部のペットボトルの処理が焼却・熱回収処理に変更となり、15番の容リ・ペットボトルが370トンの減となったこと

などによるものでございます。

なお、ペットボトルの搬入量423トンに対しまして、搬出量は7番ペットボトル（梱包無）の191トンであり、リサイクル率は40%台にとどまっていることから、ペットボトルのさらなるリサイクルを推進し、ペットボトルの焼却量を削減することにより、温室効果ガスの発生量を削減することを目的として、9月から民間施設を活用したペットボトルのリサイクルを開始いたします。

次に、右側の逆有償の資源物等搬出の欄をご覧ください。水銀を含む有害廃棄物、廃消火器などの処理困難物につきましては、逆有償での処分となっています。

また、一部のプラスチック及び廃マットレスにつきましては、民間事業者に処理を委託いたしました。

その下、残渣搬出でございますが、プラスチック類を含む可燃性残渣3,027トンにつきましては、クリーンプラザふじみにおいて全て焼却処理し、熱回収いたしました。

続きまして、資料3をご覧ください。

有価物品等の価格の推移でございます。令和7年第2回定例会後の状況につきまして、ご説明申し上げます。

7月1日以降の資源物売却に係る単価の競争入札を6月18日に実施いたしました。その結果、鉄類につきましては、3番の特A鉄、これはスチール缶のことでございます、及び4番の鉄、これは不燃ごみから出た鉄でございます、これが560円、1.4%の上昇となりました。また、アルミ類につきましては、6番の特アルミ、これはアルミ缶でございます、これが3万9,600円、11.5%の下落、7番のアルミ、これは不燃ごみから出たアルミでございます、これが1,100円、0.5%の上昇となりました。

金属資源市場は、引き続き高値圏で横ばいの状況が続いています。今後とも市況を見ながら、適切かつ有利な価格で売却できるよう努めてまいります。

続きまして、第2件目は、リサイクルセンターの更新についてでございます。

資料5をご覧ください。

管理者からご報告申し上げましたとおり、（仮称）新リサイクルセンターにつきましては、現在、設計協議を行っているところでございます。

このたび、建物のイメージパースができましたので、議員の皆様にご報告をさせていただくとともに、広報ふじみ衛生組合9月5日号に掲載し、広く市民の皆様にお知らせをさせていただきます。

次に、整備スケジュールにつきまして、説明させていただきます。

土木・建築につきましては、令和7年度中に設計を完了するとともに、令和8年2月から工事に着手し、建物については、令和10年9月までに工事が完了する見込みでございます。その後、東棟・北棟の解体工事を行い、跡地に公園や駐車場などを整備する外構工事を実施いたします。

次に、プラント等につきましては、令和7年度から設計を行い、設計が終了したものから順次工場において製作し、令和9年7月頃から建物内に設置をまいります。

なお、展示設備や施設紹介用のDVD、パンフレットなどの啓発品につきましては、建物やプラントが完成してからの製作となるため、令和9年度後半から製作に着手する予定でございます。

次に、試運転につきましては、令和10年9月から機器単体の試運転を行い、10月から実際のごみを使って試運転を実施する予定でございます。

また、3か月間の試運転を行った後、令和11年1月から本格稼働の予定でございます。

続きまして、裏面をご覧ください。

(仮称)新リサイクルセンター整備に関する生活環境影響調査について、説明させていただきます。

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第9条の3第1項では、1日当たりの処理能力が5トン以上の一般廃棄物処理施設を設置するに当たっては、都道府県に設置届を提出することとなっており、設置届に生活環境影響調査書を添付することが定められています。また、同条第2項では、生活環境影響調査書を公衆の縦覧に供し、意見書を提出する機会を付与することが定められています。(仮称)新リサイクルセンターの1日当たりの処理能力は95トンでございますので、生活環境影響調査書を縦覧するとともに、意見書を提出する機会を設けることとなります。

また、ふじみ衛生組合が設置する一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧等の手続に関する条例第4条第2項において、縦覧期間は30日間と定められており、第6条第2項において、意見書の提出期限は縦覧の告示の日から45日以内と定められています。

このようなことから、(仮称)新リサイクルセンター整備に関する生活環境影響調査書については、縦覧期間を9月8日月曜日から10月7日火曜日までの30日間とし、意見書の提出期間を9月8日月曜日から10月22日水曜日までの45日間といたします。

また、併せて9月12日金曜日18時30分から及び9月13日土曜日10時から、ふじみ衛生組合において説明会を開催いたします。

私からのご報告は以上でございます。

○議長（大野祐司君） 管理者からの報告は以上でございます。ただいまの管理者の報告につきまして、質疑のある方は挙手をお願いいたします。

岩見議員。

○7番（岩見大三君） それでは、よろしく願いをいたします。

今、ご説明をいただきました（仮称）新リサイクルセンターについて、幾つかちよっとお伺いしたいと思います。

こちらの建設に当たりましては、こちらに記載のとおり、老朽化あるいは労働環境の改善、プラスチックに関わる法改正の対応といったことが主だと思うんですけど、当該施設を建設するに当たりまして、以前あった施設と比較をいたしまして、ここに記載以外の改善点みたいなことにつきまして、現時点でもしお考えであれば、お伺いしたいと思います。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） 既存のリサイクルセンターとの改善点は、まず、1点目としまして、今、議員さんからもお話がございましたとおり、プラスチックの処理でございます。今までは、容器包装プラスチックのみのリサイクル施設でございましたが、新しい施設につきましては、製品プラスチックも含むプラスチックをリサイクルするという施設に変えていきたいと思っております。

2点目といたしましては、ごみを貯留するスペースが今の施設にはございません。新しい施設では、大きなごみピットを掘りまして、その中にごみをためておくことができるような施設とします。万が一、設備が故障した場合には、ごみ処理をすることができません。そうしますと、ごみをためておく場所がないと、収集そのものを止めなければいけないということにもなりかねませんので、新しい施設については、ごみをためるスペースを十分取っておきたいということでございます。

それから、3点目といたしましては、既存の施設は中央棟、東棟、北棟と3か所に分かれて作業しておりましたが、車同士が行き交ったりして、交通安全上も非常に好ましくないということから、全ての機能を一つの建物の中に収めてしまおうというようなことがございます。

それから、労働環境がよくないというのは議員さんがおっしゃるとおりですので、新し

い施設については、できるだけ外では作業しないというようなこと。それから、建物の中でも、できるだけ事務室に近いような形で冷暖房を完備した設備にして、労働環境を改善したいと思っております。

それから、もう1つは、既存の施設は見学ができません。今までは、小学校4年生に来ていただいても、焼却施設は見学ルートがございまして、見学ができるんですが、既存のリサイクルセンターには見学者ルートがないということで、見学ができませんでしたので、新しいリサイクルセンターについては、そういった見学者ルートも設ける予定でございます。

それから、最後ですけれども、既存のリサイクルセンターは処理能力の関係上、個人でゴミを持ち込むことができませんでした。ですから、持ち込めるゴミは燃やせるゴミだけでしたけれども、新しいリサイクルセンターにつきましては、一回り処理能力を大きくしますので、個人の持込みができるような施設になるというところがございます。

以上でございます。

○議長（大野祐司君） 岩見議員。

○7番（岩見大三君） ありがとうございます。分かりました。

すみません、もう1点だけ。こちらの建設に当たっては、整備及び維持管理はJFEエンジニアリングということなんですけど、以前、運営に当たっては別会社というような答弁を伺いました。これについて、現在の検討状況をもしよろしければお伺いしたいと思います。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） 今回の事業に当たりましては、建設と、その後20年間のメンテナンス、機器の維持管理をJFE株式会社をお願いいたしまして、実際にごみを処理する運転業務につきましては、やはり地元の雇用も大切だということで、地元の企業を中心にこれから募集をかけて決めていきたいと考えているところでございます。

○議長（大野祐司君） 岩見議員。

○7番（岩見大三君） ありがとうございます。

スケジュール的な時期とか、そういった点がもし現時点でお分かりになれば、ちょっと教えていただければ。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） 先ほど申し上げましたとおり、令和10年10月からゴミを使

った試運転が始まりますから、それまでに新しいリサイクルセンターの運転事業者が決まらなければいけないということで、準備期間も含めまして、遅くとも令和9年度早々には募集をかけなければいけないかなと思っているところでございます。

○議長（大野祐司君） ほかに質疑はございませんか。

松野議員。

○3番（松野英夫君） ご説明ありがとうございました。

何点かあるんですけども、1点目の資料1の石川県からの持込みのめどというか、今後どのぐらい予定をされているのかをお伺いいたします。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） 石川県の災害廃棄物でございますが、既に建物の解体が75%終わっておりまして、残り25%というような状況になりましたので、恐らく今年の秋ぐらいには全て終了するのではないかというふうに、今、聞いているところでございます。

○3番（松野英夫君） ありがとうございます。

もう1点が、資料2の搬出実績の中の15番廃小型家電が今回0.5%増ということになっているんですけど、こちらも増加傾向なのでしょうか。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） 廃小型家電はリチウムイオン電池を使っているようなものもございますので、三鷹市、調布市、ふじみ衛生組合が連携して、積極的に小型家電として集める、別回収しようと努めているところでございますので、今後とも増加傾向にあるのではないかと想定しているところでございます。

○議長（大野祐司君） 松野議員。

○3番（松野英夫君） ありがとうございます。

先日も、恐らくパッカー車の不審火になるのかなと思っております。この小型家電のリチウムイオンの電池の問題というのが、年々ニュースにも多くなってきているなど思ったときに、調布市だけではなくて、ほかの商業施設の力も借りなければならなくなってきたのかなと思うのですが、その辺の連携というのは、こちらからしているのでしょうか。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） リチウムイオン電池等の回収につきまして、現在はふじみ衛生組合に来るものと、あとは三鷹市、調布市で公共施設に回収ボックスを設けまして、

そちらで回収しているものがございます。

今後の見込みですけれども、民間事業者からも共同でやりませんかというようなお話が来始めましたので、今後、さらに拡大できないかどうか検討してまいりたいと考えているところでございます。

○議長（大野祐司君） 松野議員。

○3番（松野英夫君） ありがとうございます。

このリチウムイオン電池の問題は、二次災害という部分も考えると、やはり民間との協力というのがとても大事になるかと思っておりますので、引き続きよろしく申し上げます。

最後に、資料4でちょっとお伺いしたいのが、海外からの視察来場国がすごく多数あるなど感じました。海外から見たときの日本の処理施設のご意見というか、そういった部分もちょっとお伺いできればと思います。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） 日本の廃棄物処理施設でございますが、海外の方から見ると非常に素晴らしい施設という評価をいただいております。

一方で、価格的には高いという評価もございまして、特に東南アジアやアフリカを中心とした国々の方が多く来るわけですけれども、税金を投入して新たに焼却施設等を造ることが難しいという国がございます。

ふじみ衛生組合の場合には、こちらのクリーンプラザふじみは公設民営方式、DBO方式、DBOのDはデザイン、設計、Bはビルド、建設、Oはオペレート、運転、これを一括発注した方式で、東京都内の焼却施設では初めての事例でございます。そういったことで、できるだけ税金を投入しないということで造られた施設でございますので、海外から毎年非常に多くの方が見学にいらっしゃるというような状況でございます。

○議長（大野祐司君） 松野議員。

○3番（松野英夫君） ありがとうございます。

日本の施設、設備が海外の模範になるような取組をされていることにとても感激をしております。引き続きよろしく申し上げます。

最後に、私の感想なんですけれども、実は、先々月、娘がここに小学校の見学で来たときに、ペットボトルを真空にしてごみを小さくするという取組があったんですが、あれが子供たちにとってすごく大評判だったんですね。そういったSDGsに取り組めるような環境教育、環境学習というのを引き続きしていただければと思っておりますので、よろしく

お願いします。

以上です。

○議長（大野祐司君） ほかに質疑はございませんか。

古川議員。

○2番（古川陽菜君） ご説明ありがとうございました。

1点、確認させていただきたいんですけども、先ほど岩見議員の質問の中で、新しいクリーンセンターにすることで、火災とか有事の何かあったときの際に、ためておくスペースができるよというようなご答弁があったかと思うんですが、少し前に埼玉県の方で焼却施設で火災があって、ごみの収集が何日も滞ってしまったというのをニュースで見まして、今現在の施設で、もし火災があった場合とかに、ごみを燃やせなくなって、ためておけなくて収集が滞るようなことが想定されるのかというのを確認させてください。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） まず、クリーンプラザふじみでございますが、ごみをためておくピットの中に赤外線センサー、温度センサーが張り巡らされていて、その温度センサーの温度が一定の温度を超えますと警報が発報いたしまして、自動的に放水銃、水鉄砲の大きな機械ですけれども、それで火を消すというような仕組みがございます。

一方、新しいリサイクルセンターにつきましては、どちらかというプラスチック等、さらに燃えやすいものを処理いたしますので、まず、入ってきたごみについては、事前に手で選別を行って、リチウムイオン電池等を取り除く。そして、万が一に備えて、放水銃ですけれども、一部泡消火ができるような設備をさらに設置するとともに、各所に、温度センサー、煙センサー、炎センサー、そういったセンサーを取り付けまして、早期に発見をするというような二重三重の装備を設ける予定になっております。

○議長（大野祐司君） 古川議員。

○2番（古川陽菜君） 新しいクリーンセンターが今よりさらに安全な施設になるということは大変理解できたんですけど、今現在の施設で、もし火災など有事の際に焼却が滞ったときに、たくさんたまってしまって回収が滞るという可能性が想定できるのかというのをちょっと教えてください。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） 現在の施設でございますけれども、ごみのピット、ためておくピットの容量的には、市民の皆さんの排出量で言いますと大体10日から2週間分ぐら

いためることができます。

ですから、その火災の起きるタイミングにもよりますが、例えば半分ぐらいのところでは火災が発生して、施設を止めなければいけなかったといたしましても、1週間分ぐらいは何とかためられるということがございますので、その間に修繕が完成すれば通常どおり収集をすることができます。

新しいリサイクルセンターには、ごみをためておく一時仮置場というものを建物の中に設ける予定でございます。新しいリサイクルセンターが完成した後は、そういった一時保管場所もさらに活用することができますので、さらに災害対応はやりやすくなるのかなというふうに考えております。

○議長（大野祐司君） 古川議員。

○2番（古川陽菜君） 今、火災など有事があっても、取りあえず1週間程度はためられる、すぐに回収が滞るといようなことは起こらないということで確認させていただきました。ご説明ありがとうございます。

○議長（大野祐司君） ほかに質疑はございませんか。

よろしいですか。

それでは、以上で質疑を打切ります。

以上5件は、報告のとおりご了承をお願いしたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（大野祐司君） ご異議なしと認め、管理者報告のご了承をお願いいたします。

日程第5 議案第9号 令和7年度ふじみ衛生組合補正予算（第1号）

○議長（大野祐司君） 次に、日程第5、議案第9号、令和7年度ふじみ衛生組合補正予算（第1号）を議題といたします。

事務局に提案の朗読をさせます。

上野事務局次長。

（事務局朗読）

○議長（大野祐司君） 朗読は終わりました。

続いて、管理者から提案理由の説明を求めます。

河村管理者。

○管理者（河村孝君） 議案第9号、令和7年度ふじみ衛生組合補正予算（第1号）につきまして、提案理由の説明を申し上げます。

補正予算の概要でございますが、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1,020万8,000円増額し、総額を66億8,659万8,000円とするものでございます。その内訳は、歳入において繰越金を1,020万8,000円増額するものでございます。

歳出におきましては、事業費の油圧ショベル賃借料として228万8,000円、新リサイクルセンター工事監理業務委託料として792万円をそれぞれ計上するものでございます。

また、債務負担行為として、油圧ショベル賃借料について、1,124万3,000円、工事監理業務委託事業については7,128万円を限度額として、それぞれ設定するものでございます。

なお、詳細につきましては、事務局長から補足説明させていただきます。

提案理由の説明は以上のとおりでございます。どうぞよろしくご審議のほど、お願い申し上げます。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） 議案第9号、令和7年度ふじみ衛生組合補正予算（第1号）につきまして、補足説明をさせていただきます。

まず、歳出からご説明いたします。補正予算書の10ページ、11ページをご覧ください。

油圧ショベル賃借料につきましては、現在、リサイクルセンターで使用している油圧ショベルが経年劣化し、作業に支障が出始めたことから、リース契約で車両の入替えを行うために今般計上させていただくもので、令和10年度まで債務負担行為の設定を併せてお願いするものでございます。

新リサイクルセンター工事監理業務委託料につきましては、新リサイクルセンターの工事着工を令和8年2月から予定しており、この工事については、建築基準法に基づき、一級建築士による工事監理が必要なことから、今般計上させていただくもので、新リサイクルセンター竣工の令和10年度まで債務負担行為の設定を併せてお願いするものでございます。

なお、債務負担行為の限度額などにつきましては、先ほど管理者から説明いたしました、4ページに記載のとおりでございます。

次に、歳入につきましては、8ページ、9ページをご覧ください。

前年度繰越金の増が見込まれるため、繰越金を増額するものでございます。

私からの説明は以上でございます。

○議長（大野祐司君） これより質疑に入ります。質疑はございませんか。

前田議員。

○10番（前田まい君） お伺いします。

今、ご説明いただいた油圧ショベルの経年劣化ということは、直近で何か事態が判明したということなのかということをお伺いしたいのと、それから工事監理業務委託料も、当初の新リサイクルセンターの整備に当たって見込むことができた費用ではないのかと思うんですが、ご説明をお願いします。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） まず、1点目の油圧式ショベルローダーにつきましては、2005年に納入したものでございまして、既に19年9か月使用しております。何とか使えていたので、あと3年間で新しいリサイクルセンターに替わって必要なくなる可能性もありますので、何とか持たせようと努力はしていたところですが、今般、やはりちょっと厳しいということになりましたので、補正予算で対応していただきたいというものでございます。

2点目の工事監理業務委託料でございますが、一級建築士の工事監理が必要になるということで、三鷹市、調布市の職員の中で、この業務をできる職員がいないかどうか、いろいろ探したんですが、一級建築士を持っているだけでは駄目で、やはりこういった実務経験がないと困難だということが判明いたしましたので、このたび補正予算で対応させていただきます。よろしく願いいたします。

○議長（大野祐司君） 前田議員。

○10番（前田まい君） 一定、事情等は分かりました。ありがとうございます。

○議長（大野祐司君） ほかに質疑はございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（大野祐司君） それでは、以上で質疑を打ち切ります。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（大野祐司君） 以上で討論を打ち切ります。

これより採決いたします。議案第9号、令和7年度ふじみ衛生組合補正予算（第1号）について、原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○議長（大野祐司君） 満場一致と認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

以上で、本日の日程は全て終了いたしました。

それでは、これで会議を閉じます。

これにて、令和7年第3回ふじみ衛生組合議会定例会を閉会いたします。

本日はお疲れさまでした。ありがとうございました。

午前10時46分閉会

以上会議の顛末を書き、その相違ない
ことを証するためにここに署名する。

令和7年8月21日

ふじみ衛生組合議会議長

大野 祐司

ふじみ衛生組合議員4番

丸田 絵美

ふじみ衛生組合議員10番

前田 まい